

改選後の2年間を振り返って（久保田由夫議員と党市議団）

＜市議選後の2年間の議会質問＞

- ◆2018年(平成30年)6月議会
・子どもの貧困問題など
- ◆2018年(平成30年)9月議会
・再生可能エネルギーの普及と問題点
- ◆2018年(平成30年)12月議会
・大規模な太陽光発電事業への対応など
- ◆2019年(平成31年)3月議会
・椀子ワイナリーなど
- ◆2019年(令和元年)6月議会
・太陽光発電設備の適正な設置条例など
- ◆2019年(令和元年)9月議会
・教職員の働き方改革など
- ◆2019年(令和元年)12月議会
・台風19号災害と対策など
- ◆2020年(令和2年)3月議会
・代表質問:市長の政治姿勢など全部で26項目の質問

予算要望書の作成や議会報告の発行

【予算要望書の作成・提出】

- ◆2018年 11月20日提出
全部で58項目(前年度比7項目増)
- ◆2019年 11月12日提出
全部で76項目(前年度比18項目増)

【久保田由夫ほっと通信の発行】

- ◆2018年4月号から12月号まで毎月発行
(NO76から12月号までNO84まで)
- ◆2019年1月から12月まで
(7月をのぞいて毎月発行)
8月号 NO91号からフルカラー印刷に。

市政に活かされた主な事業

- ①大規模学校給食センター建設から第二学校給食センターを分離して先行改築へ。
- ②国民健康保険証の未交付問題が改善される。
(平成29年度1,133件から今年度35件に)
- ③「上田市中小企業・小規模企業振興条例」が3月議会に提案される。
- ④市独自の平和祈念事業が2年連続実施。
- ⑤子どもの貧困対策が市の計画に盛り込まれる。
- ⑥大規模太陽光発電施設の適正な設置条例制定。
- ⑦教職員の勤務時間が明確に、多忙化解消へ。
- ⑧台風19号災害 市独自の被災者支援制度が創設。
- ⑨自主防災組織資器材購入補助制度拡充される。

＜資源循環型施設の建設の課題の状況＞

資源循環型施設の建設は、地域住民の安全・安心を将来にわたって保証する計画の策定に向け、一昨年の11月に設置した「資源循環型施設検討委員会」において当初の予定を延長して活発な議論を行っており、丁寧に話し合いを進めている。先月10日、8回目の委員会では、ごみ減量の取組をはじめ、施設の規模・方式などの基本的条件、環境対策などの検討結果の取りまとめに向けた協議を行い、現在、そこで示された各委員からの御意見を踏まえて調整を進めております。資源循環型施設建設は、市政の最優先課題として位置付けており、今後も、地域住民の皆様との合意形成に向けて全力で取り組んでまいります。(令和2年3月議会市長施政方針)

2月写真通信



【写真の説明】【左上から右へ】 ゴルゴ松本さんの講演会のあった JA 信州うえだ主催の保健福祉推進大会、東内地区・西内・平井地区の6つの自治会が内村橋の早期復旧を求めて要望書を土屋陽一上田市長に提出。(署名数は、1601筆) 鹿児島県鹿屋市へ平和行政の会派行政視察。【中段左から右へ】 真田町の山家神社の節分祭で宮司と縁があつて豆まき。上田市議会主催の「防災シンポジウム」&議会報告会:満席になり会場外でモニターを見てもらいました。鹿児島県南九州市にある知覧平和会館へ。【下段の左から右へ】 陣場台地研究委員会主催の「ワインを楽しむ会」には、185人+スタッフの皆さんが参加。写真は友人。上田地域広域連合議会:今回は、私が一般質問。第32回人権フェスティバルでは、丸子中学生徒による職場体験発表、ボッチャ体験、上野千鶴子さんの講演会がありました。